



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月4日

上場会社名 株式会社 丸運

上場取引所 東

コード番号 9067 URL <https://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 植西 祐

TEL 03-6861-3419

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,334	△11.1	△43	—	△7	—	△16	—
2020年3月期第2四半期	25,127	0.9	380	△18.9	457	△14.0	316	△5.2

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 109百万円 (△51.3%) 2020年3月期第2四半期 225百万円 (△64.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△0.56	—
2020年3月期第2四半期	10.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	39,028	23,118	58.4	789.43
2020年3月期	40,856	23,037	55.6	786.66

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 22,804百万円 2020年3月期 22,724百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2021年3月期	—	4.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,100	△5.1	600	△43.4	700	△42.5	440	△51.4	15.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	28,965,449 株	2020年3月期	28,965,449 株
2021年3月期2Q	78,478 株	2020年3月期	78,258 株
2021年3月期2Q	28,887,145 株	2020年3月期2Q	28,887,344 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大（以下、コロナ禍）の影響を受けた全国的な緊急事態宣言の発令に伴う企業活動に対する制約、外出自粛要請などから、低調に推移しました。5月に緊急事態宣言が解除され、経済活動再開に向け舵が切られました。しかし、感染拡大防止と経済活動の両立をはかる中、景気の回復は緩やかなペースにとどまるものと思われまます。今後については、依然として国内外のコロナ禍の収束時期が不透明な状況下、景気の下振れリスクに対する懸念があります。

陸運業界では、適正運賃の収受に向けて取り組んでいます。しかしながら、コロナ禍の影響を受け、経済活動が低迷していることから、厳しい状況となっています。また、物流業界の構造的課題であるトラック乗務員や作業員の不足を解決するには、まだ時間を要するものと思われまます。

このような経営状況下、当社グループは、2020年度から2022年度を対象とした第三次中期経営計画をスタートさせました。グループ一丸となって更なる企業価値の向上に向けて、着実にアクションプランの実現を図ります。

これらの結果、コロナ禍の影響による輸送数量の減少などにより当第2四半期連結累計期間の営業収益は、前年同期比11.1%減の223億34百万円となりました。経常損益は、営業収益の大幅な減少に伴い前年同期比4億64百万円減の7百万円の経常損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、前年同期比3億32百万円減の16百万円の親会社に帰属する四半期純損失となりました。

セグメント別の業績概況は、次の通りです。

なお、第1四半期連結会計期間より、会社組織変更に伴い「国際貨物」セグメントを国内と海外に分離し、国内は「貨物輸送」セグメントに、海外は「その他」に統合、「潤滑油・化成品」セグメントは「石油輸送」と統合し「エネルギー輸送」に名称変更、また「石油輸送」の一部事業を「その他」に統合いたしました。当第2四半期連結会計期間より「その他」に含めておりました「海外物流事業」「テクノサポート管理本部（受託部門）」については量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しております。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### 《貨物輸送》

当部門においては、価格改定の取り組み、既存顧客との取引深耕、新規顧客の獲得および国際貨物を含めた各取引の拡充を図るなどに取り組んでいます。コロナ禍の影響を受けた巣ごもり消費の増加により通販需要などが増加した結果、食品の保管収入は増収となりました。しかし、主力である自動車関連貨物の需要減により、アルミ、銅製品およびタイヤ補強用鋼線等の落ち込みが著しく、部門全体で減収減益となるなど、依然として事業環境は厳しい状況となっています。

これらの結果、営業収益は前年同期比13.5%減の132億94百万円、経常利益は、前年同期比2億93百万円減の1億70百万円となりました。

#### 《エネルギー輸送》

石油部門においては、コロナ禍の影響により、輸送数量が前年同期比11.9%減少となった結果、減収減益となりました。

潤滑油・化成品部門も、コロナ禍の影響を大きく受け主要顧客の輸送数量が前年同期比15.1%減少となり、減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比9.0%減の71億92百万円、経常損益は前年同期比2億32百万円減の1億99百万円の経常損失となりました。

#### 《海外物流》

海外物流事業においては、コロナ禍の影響により、当社顧客の事業活動が停滞したことに加え、米中貿易摩擦の影響もあり、収益面では輸出入品の業務について低調に推移しました。

しかしながら、前年度から取り組んできた自社保管や輸送効率の改善が進展していることに加え、自動車関連需要の復調に伴い中国国内の保管および輸送も回復したことから、増収増益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比5.3%増の7億69百万円、経常利益は前年同期比11百万円増の12百万円となりました。

《テクノサポート》

テクノサポート管理本部の受託業務部門においては、油槽所関連が堅調に推移しました。しかしながら、製油所関連の定期修繕工事規模が、前年度の実績を下回ったことから、減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比3.3%減の10億57百万円、経常利益は前年同期比8百万円減の33百万円となりました。

当期のセグメント別の営業収益および経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益	前年同期比	経常利益	前年同期増減額
貨物輸送	13,294百万円	86.5%	170百万円	△293百万円
エネルギー輸送	7,192	91.0	△199	△232
海外物流	769	105.3	12	11
テクノサポート	1,057	96.7	33	△8
その他	20	95.7	△23	58
合計	22,334	88.9	△7	△464

- (注) 1. その他の事業は、損害保険代理店業および事務代行業等であります。  
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

《資産》

当第2四半期連結会計期間末における総資産は390億28百万円となり、前期末に比べ18億27百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金の減少9億54百万円及び季節差による受取手形及び営業未収入金の減少9億22百万円等によるものであります。

《負債》

当第2四半期連結会計期間末における負債は159億10百万円となり、前期末に比べ19億8百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未払金の減少5億41百万円、返済による借入金の減少10億58百万円、未払金の減少1億81百万円及び納税による未払法人税等の減少2億28百万円等によるものであります。

《純資産》

当第2四半期連結会計期間末における純資産は231億18百万円となり、前期末に比べ81百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を16百万円計上したことによる減少、配当金の支払による減少1億15百万円、子会社1社を連結に含めたこと等による利益剰余金の増加87百万円及びその他有価証券評価差額金の増加1億円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の55.6%から58.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、2020年8月5日公表の連結業績予想から変更はありませんが、当第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じておりますので、本日公表いたしました「2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,329	2,374
受取手形及び営業未収入金	6,884	5,962
商品及び製品	2	2
原材料及び貯蔵品	44	39
その他	945	861
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,204	9,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,251	5,038
土地	16,908	16,908
その他(純額)	3,750	3,827
有形固定資産合計	25,910	25,774
無形固定資産		
ソフトウェア	83	729
ソフトウェア仮勘定	912	392
その他	88	88
無形固定資産合計	1,084	1,210
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692	1,829
その他	1,092	1,100
貸倒引当金	△128	△126
投資その他の資産合計	2,655	2,803
固定資産合計	29,651	29,788
資産合計	40,856	39,028
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,521	2,980
短期借入金	3,562	2,254
未払法人税等	281	52
賞与引当金	643	658
その他	2,537	2,406
流動負債合計	10,545	8,351
固定負債		
長期借入金	2,664	2,913
再評価に係る繰延税金負債	1,937	1,937
退職給付に係る負債	2,320	2,367
役員退職慰労引当金	40	48
その他	311	293
固定負債合計	7,273	7,559
負債合計	17,819	15,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	13,165	13,120
自己株式	△21	△21
株主資本合計	19,779	19,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	454
土地再評価差額金	2,811	2,811
為替換算調整勘定	△117	△108
退職給付に係る調整累計額	△104	△89
その他の包括利益累計額合計	2,944	3,068
非支配株主持分	312	314
純資産合計	23,037	23,118
負債純資産合計	40,856	39,028

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益	25,127	22,334
営業原価	23,212	20,949
営業総利益	1,915	1,384
販売費及び一般管理費	1,534	1,428
営業利益又は営業損失(△)	380	△43
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	44	36
その他	48	22
営業外収益合計	95	61
営業外費用		
支払利息	13	15
障害者雇用納付金	3	4
その他	2	5
営業外費用合計	19	25
経常利益又は経常損失(△)	457	△7
特別利益		
固定資産売却益	50	16
負ののれん発生益	7	—
雇用調整助成金	—	44
その他	1	1
特別利益合計	59	62
特別損失		
固定資産除売却損	21	0
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	40
その他	—	6
特別損失合計	21	47
税金等調整前四半期純利益	494	8
法人税、住民税及び事業税	196	50
法人税等調整額	△22	△26
法人税等合計	173	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	321	△15
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	316	△16



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	321	△15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	100
為替換算調整勘定	△54	10
退職給付に係る調整額	14	14
その他の包括利益合計	△95	125
四半期包括利益	225	109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225	108
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。